

第 74 回国民体育大会 岩手県代表選手選考基準

1 参加資格

- (1) 社会人 岩手登録の者（在勤・在住）、または岩手県の中学校か高等学校卒業後、他県で登録しているが、ふるさと選手として、岩手県で参加の意志のある者。
- (2) 大学生 岩手登録の者、または岩手県の中学校か高等学校卒業後、他県で登録しているが、ふるさと選手として、岩手県で参加の意思のある者。
- (3) 高校生 学校教育法の定める高等学校で、全日制・定時制は問わない。岩手県の高等学校に在学し、かつ岩手登録であること。通信制に通う者は岩手県在住で岩手登録の者。
- (4) 中学生 岩手県の中学校に通学し、かつ岩手登録の者。
- (5) その他 岩手県の中学校か高等学校を卒業した者で、トップアスリート特例措置および国民体育大会予選会免除対象の者。

2 出場制限

- (1) 監督 2 名、選手 29 名（男子 19 名以内、女子 19 名以内）、合計 31 名以内で編成する。ただし、監督が選手を兼任する場合、選手を 30 名以内で選考する。
- (2) 監督は、JAAF コーチまたはジュニアコーチの資格を有する者とする。
- (3) 1 種目 1 名、同一人の出場は 2 種目までとする。ただし、リレーは除く。
- (4) 岩手陸上競技協会主催の選考会に出場しなかった種目には出場できない。ただし、1 種目選考会に出場し、その種目の代表選手となった者は、出場しなかった他の種目にも出場できる。
- (5) リレーに出場する者は選考会のどの種目であっても参加していれば出場できる。
- (6) ふるさと選手制度における参加ができる。〔※1〕
- (7) 成年女子 5000m 競歩、成年女子走高跳、成年女子棒高跳には、少年女子 A からエントリーできる。

※1 県外に移住している競技者は、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県から出場することができる。ただし、原則として 1 回につき 2 年以上連続し、利用できる回数は 2 回までとする。選考会に参加申込みの際、ふるさと選手登録を必ず行うこと。

3 選考会

- (1) 成年・少年 A・少年共通
 - ①2019 岩手県陸上競技選手権大会（以下、最終選考会）
 - ②2019 岩手県春季陸上競技会
- (2) 少年 B
 - ①第 71 回岩手県民体育大会陸上競技会（以下、最終選考会）
 - ②2019 岩手県陸上競技選手権大会
 - ③2019 岩手県春季陸上競技会

4 選考基準

- (1) 標準記録を基準として選考する。ただし、競歩種目については、常時安定した歩型で競技ができる競技者を選考する。
 - (2) トップアスリートの特例措置を受けた競技者(※3)、国民体育大会予選会免除対象者(※4)、A標準突破競技者がいる種目については、強化部で審議し推薦する。
 - (3) 最終選考会にエントリーし、いずれかの選考会に出場している選手を、下記の順序に従って選考する。
 - ①A標準を突破し、日本選手権において入賞した競技者。
 - ②A標準を突破し、最終選考会で当該種目の最上位になった競技者。
 - ③A標準を突破した競技者。
 - ④B標準を突破し、最終選考会で当該種目の最上位になった競技者。
 - ⑤標準記録突破者がいない種目で選考会において当該種目の最上位となった競技者、標準記録を突破している競技者、リレー競技に出場する競技者、故障等で競技力を発揮できない状態にある競技者については、選考会、他競技会の結果と記録を踏まえ強化部で審議し推薦する。
- ※3 JOC アスリートプログラム強化指定選手、国内ランキング上位 10 位以内の選手、日本陸連強化指定選手については、国民体育大会参加資格特例措置として、予選会の免除などの特例がある。対象となる選手については、日本陸連より通知される。
- ※4 日本陸上競技連盟が指定する国際競技大会出場のため日本代表に選出された競技者は、選考会の出場を免除することがある。

5 標準記録

- (1) 有効期間 2019年4月1日～2019年7月21日
- (2) 別紙のとおり
- (3) 公認記録を有効とする

6 内定通知方法

岩手陸上競技協会強化部が原案を作成し、岩手陸上競技協会理事会の承認を経て内定となる。内定後、所属長と本人宛に内定通知を行う。なお、エントリーのシステム入力完了(8月下旬頃)後、県体協の選手強化委員会の承認を経て決定となる。

7 確認事項

- (1) 国体代表選手決定後、故障等により本来の競技力を発揮できない事態が生じた場合は、代表を取り消し選手変更する場合がある。
- (2) 国体代表選手は、国体合宿および練習会に必ず参加すること。参加しない選手は、代表を取り消す場合がある。
- (3) 国体代表選手として、相応しくない選手は代表を取り消す場合がある。
- (4) 岩手県代表として、相応しくない競技者は代表選手として選考しない。